

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要

建物名称	協栄流通株式会社様向け 新潟グロサリー集品センター新築工事
建設地	新潟県新潟市西区
用途地域	準工業地域、防火指定なし
建物用途	工場
竣工年	2021年5月 予定
敷地面積	14,313.43 m ²
建築面積	5,489.65 m ²
延床面積	6,308.51 m ²
階数	地上2F
構造	S造
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2020年3月18日



2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{44.5}{37.9} = 1.1$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

項目	平均スコア	評価	対策	指標	スコア
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に 使い続けるために	3.4		バリアフリー計画 維持管理 設備の更新性	Q2.1.1.3 Q2.1.3 Q2.3.3	- - 3.4
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産 を守るために	3.0		耐震・免震・制震・制振 信頼性	Q2.2.1 Q2.2.4	3.0 3.0
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりの ために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用	LR1.1 LR1.2	- 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づく りのために	4.3		節水 躯体材料以外でのリサイクル材の使用 部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.1.1 LR2.2.4 LR2.2.6	4.0 4.0 5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代 に引き継ぐために	1.5		生物環境の保全と創出 敷地内温熱環境の向上	Q3.1 Q3.3.2	1.0 2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活か したまちづくりのために	3.0		まちなみ・景観への配慮 地域性への配慮、快適性の向上	Q3.2 Q3.3.1	3.0 3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

- ・ケーブルラック等により構造部材だけでなく、仕上げ材を痛めることなく電気・通信配線の更新・修繕ができます。
- ・自動水栓や、省水型便器を用いるなど水資源を保護しています。
- ・リサイクル資材を採用するなど非再生性資源の使用量削減に配慮しています。
- ・スライディングウォールを採用するなど部材の再利用可能性向上への取り組みをしています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE®新潟

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	協栄流通株式会社様向け 新潟グロサリー集品センター新築工事	階数	地上2F
建設地	新潟県新潟市西区	構造	S造
用途地域	準工業地域、防火指定なし	平均居住人員	200 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年5月 予定	評価の実施日	2020年3月18日
敷地面積	14,313 m ²	作成者	三菱ケミカルエンジニアリング(株) 一級
建築面積	5,490 m ²	確認日	
延床面積	6,309 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項	
総合	環境に配慮した建物を目指しました。空調負荷を減らせる様、断熱性を有する屋根・外壁材を採用し、汚れ難く、清掃・メンテナンスし易い室内環境を形成しています。外装材は周辺に同調した色彩を選定し、建物高さも抑えて周辺環境へ配慮しました。
Q1 室内環境	評価対象外
Q2 サービス性能	補修必要間隔の内装仕上材、ダクト、配管材を採用するなど建物の耐用性・信頼性に配慮しました。
Q3 室外環境 (敷地内)	緑地を設けることにより良好な景観を形成しています。
LR1 エネルギー	LED照明を採用するなど設備システムの高効率化に配慮しています。
LR2 資源・マテリアル	ノンフロン断熱材を採用するなど汚染物質含有材料の使用を回避しています。
LR3 敷地外環境	運用時のLCCO ₂ 排出量を低減し、地球温暖化へ配慮しています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される